

車種別取付資料

平成16年 9月29日 作成
 平成23年 4月15日 更新
 BOX No.138203

ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

車両情報	ホンダ フィット アリア	GD #系	1 / 2 ページ	ES-89Light	Type	N.L.
	平成16年3月～				Opt.	ドアロックリレーNLⅢ (EP070)

❶ 注意事項：イモビライザー付き車のみ

- エンジンイモビライザーシステムが、装着されている車種があります。(標準装備・又はメーカーオプション)
- イモビライザー装着車に取り付けするエンジンスターターは、イモビライザー対応モデル(受信機に4極コネクタが付いているモデル)のみ取り付けできます。
- 取り付けの際は、H-1イモビ対応ユニット(FOH01)を使用します。
- 詳細は、イモビ対応ユニットの取付説明書を参照してください。

- ❷ 注意事項：カーアラーム(ディーラーオプション)付き車は、別売のダイオードハーネス(EP101)の取り付けが必須になります。取り付けが出来ない機種がありますので、取り付け方法とあわせて2/2ページを参照してください。

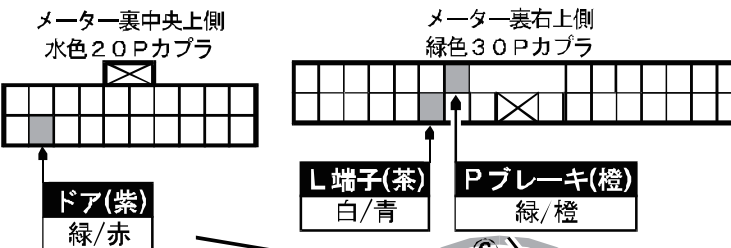
A/T車設定が必要な行のみのみ

(A/T車設定作業について)
 配線・受信機取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のキースイッチをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のA/TシフトレバーをRレンジに動かし、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)Pレンジに戻す。
- ④ 車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
- ⑤ 設定完了。

※設定作業をしないと、エンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(受信機CN2緑色)
 車両配線色



❶ 旧Lightは、ドアロックリレーNo.001/NLR (EP028)が必要で、取り付けは、BOX No.200001を参照。

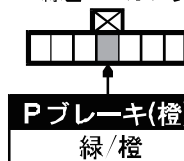
❷ ドアロック/アンロックの取り付けについては、2/2ページを参照してください。

❸ H116ハーネスの中継カプラは、車両側のテーピングをカットして車両側ハーネスを折り返して、コラムカバーの外側(奥側)で固定すること。(中継カプラをカバーの内側に入れると、コラムカバーが止まらなくなります)

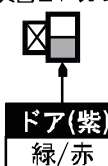
キーシリンダ右上側のイモビアンプレユニット裏側 緑色7Pカプラ

H-1 116 対応ユニット
 7Pコネクタを割込接続

❹ イモビライザー装着車 イモビアンプレユニット裏側 緑色7Pカプラ



ヒューズBOX内 ヒューズの下側 灰色2Pカプラ

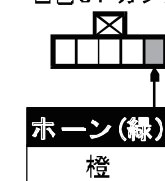


❶ 運転席側カバー類の外し方

- ① アンダーカバーを外す。(ノブを左側に90度回してから、下側へ引っ張り手前のフックを外す)
- ② ヒューズBOXカバー(フタ)を、手前に引っ張って外す。
- ③ コラムカバーを外す。(下側からネジ3本)
 ※以下は、メーター裏側に配線を行う場合のみ外す。
- ④ 3連メーター内側のカバーを外す。
- ⑤ 3連メーターのカバーを外す。(ネジ4本)
- ⑥ 上のカバーを外す。(ネジ5本)

- ⑦ 右サイドステップカバーを外す。
 - ⑧ 右サイドカバーを外す。
- ※以下は、ドアロック/アンロックの配線を行う場合のみ外す。

コラムカバー内上側 白色5Pカプラ



コラムカバー内下側 キーシリンダ直付け

専用ハーネス
 H116
 VH116 (V)

❶ 機能付き機種のみ配線

車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

平成16年 9月29日 作成
平成23年 4月15日 更新
BOX No.138203

車両情報

ホンダ フィット アリア
平成16年3月～

GD#系

2/2ページ ES-89Light

Type N.L.

Opt. ドアロックリレーNLⅢ (EP070)

❗旧Lightは、ドアロックリレーNo.001/NLR (EP028) が必要です。
取り付けは、BOX No.200001を参照。

ダイオードハーネスの接続方法

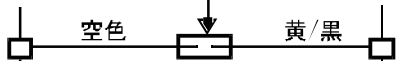
❶ディーラーオプションのカーアラーム装着車に、エンジンスターターを取り付けする場合は、ダイオードハーネス (別売) を使用して配線が必要です。(ダイオードハーネスを取り付けせずにカーアラームがセットされた状態で、エンジンスターターで始動すると、警報のホーンが鳴ります。)

❶ダイオードハーネスの配線方法

カーアラーム (用品) のハーネスに
テーピングされている2Pカプラ



ダイオードハーネス (EP101)



受信機CN2の空色 (ギボシ付き配線) へ
接続。
カーアラームハーネス内
2Pカプラの黄/黒
(ON信号) へ接続。

❶ダイオードハーネスの配線 (空色と黄/黒) は、
接続先を間違わないように注意してください。

❷使用時の注意事項 (カーアラーム装着車)
エンジンスターター使用時は、必ずSTOP
操作でエンジンを停止して、純正キーレスエ
ントリーでアンロック操作をしてからドアを
開けてください。(純正キーレスでアンロッ
クしてからドアを開けないと、カーアラーム
が作動してホーンが鳴るため)

❶注意事項

- ・カーアラーム (ディーラーオプション) 装着車は、下記のモデルのみです。
 - ES-89Pico (ESP11) シリアル: G0131001 以降の製品のみ
 - ES-89ProLight II (ESL24) ●Pico950 (ESP40)
 - ES-89ProLight (生産終了モデル)
 - ES-89DualPico (生産終了モデル)
- ・別売のダイオードハーネス (EP101) の取り付けが必須になります。左の図を参照して取り付けをしてください。

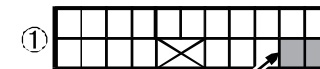
❶特有の注意事項 (使用できない機能等について)

- ❶オートロック機能は、使用できません。

ドアロック・アンロック

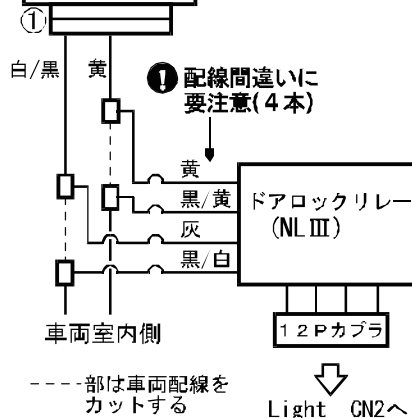
❶右サイドステップカバー、及びサイド
カバーを外してから作業する

ヒューズBOXの右下側
運転席ドアから室内への中継
灰色20Pカプラ



❶ドアロックリレーNLⅢが必要です。

運転席ドア側
(カプラ側)



配線内容(受信機CN2緑色)
車両配線色

車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

平成19年 9月 1日

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

■ES-89ProLight II (ESL24) を取り付けする場合

①初年度登録が2006年（平成18年）7月以降の車両は、必ずヒューズ（25A）付きの専用ハーネス（VAS対応品）で取り付けをしてください。



❗ 車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス（VAS対応品）を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、(V)の表示をしてあります。

左記の場合、VH116がVAS対応品です。

②初年度登録が2006年（平成18年）6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

■ES-89ProLight II (ESL24) 以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧型モデル（オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル）については、旧型専用のハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight IIは、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準（新保安基準）に適合しており、全国自動車用品工業会（JAMA）の盗難発生警報装置自主基準（VAS）を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。（以下を確認してください）

①初年度登録が2006年（平成18年）7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❗ 該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス（VAS対応品）の使用が必須となります。

②盗難発生警報装置（機能）を使用する場合、全てのドア（バックドア等も含む）開検知が必要です。

❗ 該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット（別売）が必要になります。

③登録証（全国自動車用品工業会自主基準登録証）は、必ずお客様にお渡しく下さい。

❗ 製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しく下さい。

なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。